

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【公表番号】特表2007-501776(P2007-501776A)

【公表日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-004

【出願番号】特願2006-522355(P2006-522355)

【国際特許分類】

C 0 7 C 49/84 (2006.01)

C 0 7 C 225/16 (2006.01)

C 0 8 F 2/50 (2006.01)

C 0 7 D 295/10 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 49/84 C S P

C 0 7 C 225/16

C 0 8 F 2/50

C 0 7 D 295/10 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月27日(2007.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

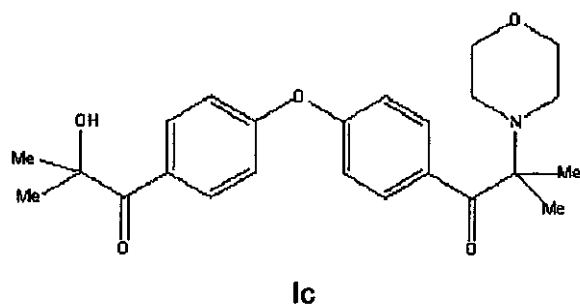
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式I cの光開始剤。

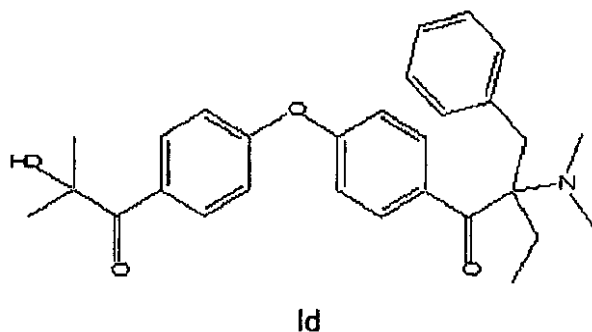
【化1】



【請求項2】

式I dの光開始剤。

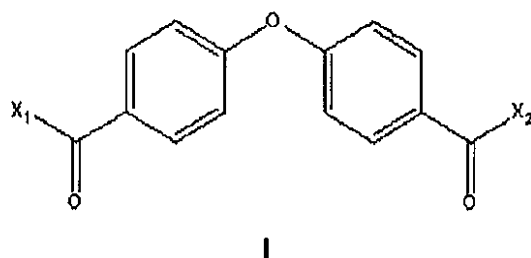
【化 2】



【請求項 3】

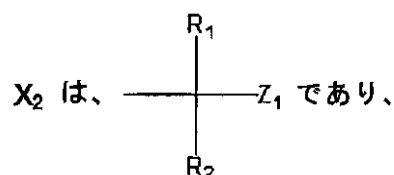
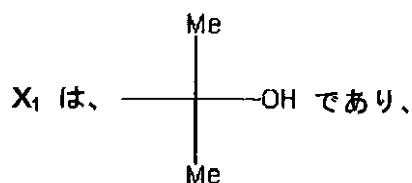
式 I の二官能性光開始剤を 1 種または 2 種以上含む、透明な光重合可能なシステムであって、

【化 3】



ここで、 X_1 および X_2 は異なっており、

【化 4】

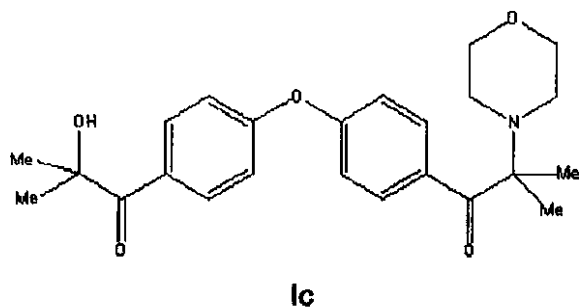


ここで、 R_1 および R_2 は、独立して、直鎖状または分枝状または環状 $C_1 \sim C_6$ アルキルであり、または共に $C_2 \sim C_6$ アルキレンを表し、 Z_1 は、 $-NR_3R_4$ であり、ならびに R_3 および R_4 は、独立して、 $C_1 \sim C_6$ 直鎖状もしくは分枝状もしくは環状アルキル、または $C_2 \sim C_6$ オキサアルキレンである、前記システム。

【請求項 4】

式 I c の少なくとも 1 種の光開始剤を含有する、請求項 3 に記載の透明な光重合可能なシステム。

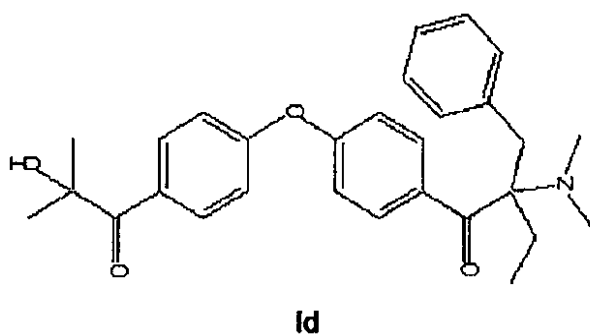
【化 5】



【請求項 5】

式 I d の少なくとも 1 種の光開始剤を含有する、請求項 3 に記載の透明な光重合可能なシステム。

【化 6】



【請求項 6】

木、紙、プラスチック、ボール紙、または金属表面の高厚コーティングを実現するための方法であって、反応性のエチレン不飽和オリゴマーおよび/またはモノマー、および少なくとも 1 種の、式 I の二官能性の光開始剤を含有する透明な光重合可能なシステムを調製し、光重合後に 10 ミクロンより大きい厚さを有するコーティングを得るために適用し、その後に、400 nm までの UV - 可視スペクトルを放つ光源で光重合する、前記方法。

【請求項 7】

透明な光重合可能なシステムを、光重合後に 10 ~ 100 ミクロンの厚さを有するコーティングを得るために適用する、請求項 6 に記載の木、紙、プラスチック、ボール紙、または金属表面の高厚コーティングを実現するための方法。

【請求項 8】

透明な光重合可能なシステムが、少なくとも 1 種の式 I c の二官能性光開始剤を含有する、請求項 7 に記載の木、紙、プラスチック、ボール紙、または金属表面の高厚コーティングを実現するための方法。

【請求項 9】

透明な光重合可能なシステムが、少なくとも 1 種の式 I d の二官能性光開始剤を含有する、請求項 7 に記載の木、紙、プラスチック、ボール紙、または金属表面の高厚コーティングを実現するための方法。

【請求項 10】

請求項 3 ~ 5 のいずれかに記載の光重合システムの光重合により得られる、10 ~ 100 ミクロンの厚さを有する透明なコーティングで被覆された固体基材。